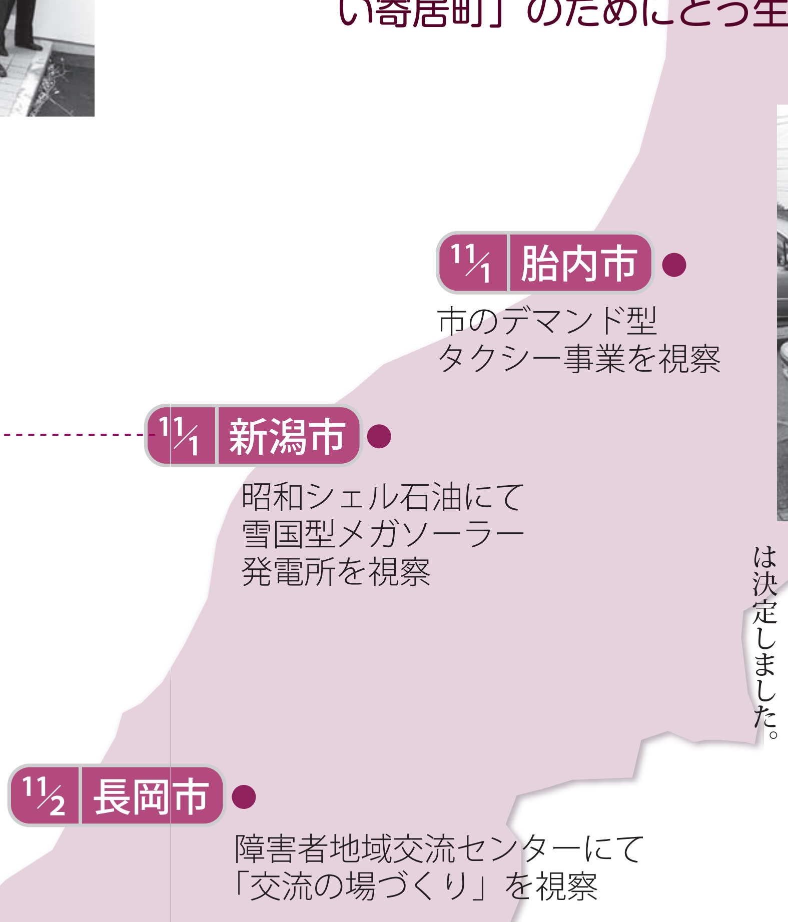
新潟県内3ヵ所 見てきました 先進地

3委員会では今回、先進地視察として新潟県を訪問。視察結果を「よりよい寄居町」のためにどう生かしていくか……議員の調査・研究は続きます。



総務経済常任委員会

調査研究テーマ「公共交通」

利便性向上を目指して見直し図るデマンドタクシー（胎内市）

デマンド型タクシー「のれんす号」

胎内市の「デマンドタクシー事業」について視察しました。

デマンドタクシー「のれんす号」の実証運行についての説明を受けた後、期待される効果や今後の課題についての話を聞きました。

特に課題としては、1日の利用者数の増加を図るため、商店や関係機関との連携強化、さらなる周知等が必要であり、独自の財源確保に努めるほか、公共交通サービスの利便性向上を目指し、見直しをしなければならないとのことです。

寄居町での実現に向け、引き続き調査研究することを本委員会では決定しました。

文教厚生常任委員会

調査研究テーマ「障害者支援対策」

共に生きる仲間として交流の場づくりを（長岡市）

長岡市の障害者地域交流センターは、平成13年3月に旧与板町障害者地域交流センターとして設置され、その後合併により市の施設として継続しているものです。障害者及び地域住民との交流などに利用されるふれあいサロン、食事づくり等に利用される調理実習室及び作業室、管理室、男女休憩室があり、作業室については、小規模作業所2団体が常時使用しているとのことでした。

開館時間は月曜から金曜日の午前9時から午後4時まで、使用料は無料で、施設の運営・管理については、施設の約半分をNPO法人「地域活動支援センターコスモス」が行っています。

施設設置目的のひとつである障害者と地域住民との交流が少ないことと、利用者・家族の高齢化等により会員数が減少していることなどが今後の課題とのことでした。

作業所にて説明を受ける

研修棟前で説明を受ける

第4次 三ヶ山地域開発調査特別委員会

調査研究テーマ「三ヶ山地域の開発調査」

太陽光発電を三ヶ山地域開発の参考に（新潟市）

新潟市にある昭和シェル石油㈱雪国型メガソーラー発電所を視察しました。この発電所は、日本初の商業用発電施設で、平成22年8月31日から運営を開始。

太陽光パネルを1万2528枚使用、発電規模は1000キロワットで、年間の発電量は一般家庭約300世帯相当分となります。発電された電力は、すべて電力会社を通じて近隣地域に供給され、これによるCO_2（二酸化炭素）削減効果は年間469トンです。

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出（特にCO_2の削減）が急務で、企業の社会的責任が強く求められている現在、太陽光発電のような再生可能エネルギーを導入し、CO_2削減を実行することで、貢献しています。

本委員会では、視察を踏まえ、三ヶ山地域開発に向けて引き続き調査研究をしていきます。

メモ 今回の視察先はこんなところです。【自治体データ】

胎内市…平成17年9月に1町1村が合併して誕生した市の名前は胎内川に由来。人口約3万2000人。

長岡市…人口約28万3000人（約10万世帯）は新潟県下第2位の規模。米百俵の精神が根付く特例市。

新潟市…人口約81万人の県庁所在地。水田面積は日本一を誇る。本州日本海側で唯一の政令指定都市。

Report

議会だより編集委員会 研修会に参加

議会広報研修会（11/18・さいたま市）

議会だよりをもっと身近に

わかりやすい説明で課題が明確に

埼玉県町村議長会主催の広報研修会に編集委員5名で参加しました。

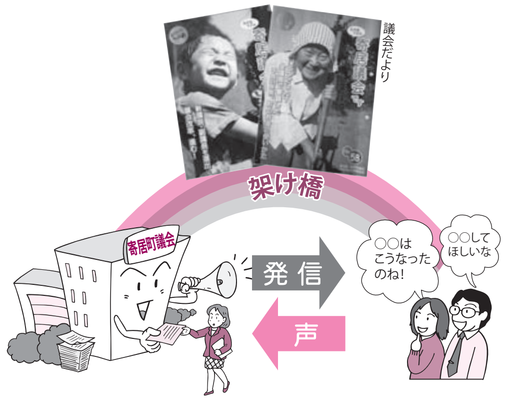
講師の県コミュニケーションセンターの芳野政明氏は、毎回角度を変えて市町村発行の議会報（議会だより）をクリニックされるので、わかりやすく、自分たちの議会だよりに取り入れることができる部分が明らかになります。

寄居町議会だよりについて評価された部分と、改善を求められた部分を、今後に生かしたいと考えます。

研修会を受けて変更しました

さて、今回の議会だよりから一般質問（P.6～10）に議員顔写真を掲載しています。

従来の似顔絵から変更することについては議員の中でも賛否両論ありましたが、編集委員会で協議の結果、変更してみました。



議会だよりは、
「町議会と住民のみなさんとの架け橋」
ぜひご意見をお寄せください。
（あて先は裏表紙をごらんください）

よりいの笑顔、もうひとつ。裏表紙もぜひごらんください。